公開シンポジウム

東国弥生文化の謎を解き明かす

～佐倉市岩名天神前遺跡と再葬墓の時代～

趣旨説明　10：30 ～ 10：40

記念講演　10：40 ～ 11：10

岩名天神前遺跡発掘の思い出　大塚初重（明治大学名誉教授）

講　演　1.　11：10 ～ 12：00

再葬の世界　春成秀爾（国立歴史民俗博物館名誉教授）

講　演　2.　13：00 ～ 13：50

再葬墓集団のくらし　設楽博己（東京大学大学院教授）

講　演　3.　13：50 ～ 14：40

東日本弥生文化の変革　石川日出志（明治大学文学部長）

討　論　14：50 ～ 16：00

岩名天神前遺跡から弥生文化を問い直す

パネラー　春成秀爾、石川日出志、設楽博己

司　会　小林青樹（奈良大学教授）

開催日

平成29年（2017）

2月19日（日）

開場10時～

会 場

佐倉市民音楽ホール

（千葉県佐倉市王子台 1-16）

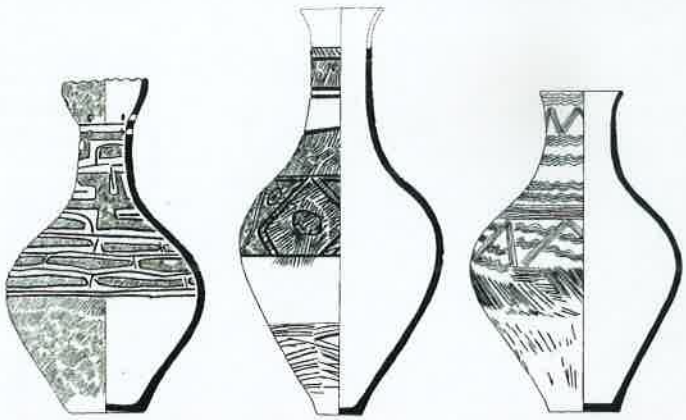
京成臼井駅徒歩5分

入場無料

（資料代　500 円）

事前申し込み不要

佐倉市岩名天神前遺跡は、弥生時代の墓制である再葬墓の姿が初めて明らかになった重要な遺跡です。
再葬墓とは、加工した遺骨を壺に入れて埋納する東日本に特徴的な墓制です。本シンポジウムでは、岩名天神前遺跡の発掘調査から半世紀が過ぎたことを記念し、市民と研究者がともに、謎に満ちた東日本弥生時代前半期の社会について考えます。



主催　佐倉市岩名天神前遺跡公開シンポジウム実行委員会

後援　佐倉市教育委員会　明治大学博物館

事務局（廡）Tel & Fax　043-235-7359

右ＵＲＬから随時情報発信中 http://yatikurike.exblog.jp/